



原因不明のネットワークトラブルにお困りですか？

迅速な復旧には、“ネットワークの可視化”がもっとも有効です。



独自のモニタリング手法LWPI® (Lightweight Packet Inspection®) で
あらゆるトラフィックの監視が可能！

@FlowInspectorは、独自のモニタリング手法 LWPI(Lightweight Packet Inspection)を用いたネットワーク監視装置です。LWPIは、パケットの任意のヘッダー情報の組み合わせにより定義したフローに対し、パケット数・バイト数・マイクロバーストなどの計測を可能とする技術で、あらゆるトラフィックを可視化することができます。これらの特長を用いて詳細なトラフィック分析を行うことで、ネットワークの安定運用やパフォーマンスの最適化、迅速な問題検出と対策が可能となり、ユーザーの業務効率を大幅に向上することができます。

POINT

1

LWPIにより、あらゆる
トラフィックを可視化

POINT

2

複数プローブを時刻同期
させて高精度遅延計測

POINT

3

収集したデータを
リアルタイムに画面表示

※LWPI(Lightweight Packet Inspection)は、NTTアドバンステクノロジー株式会社の特許です。
※「@FlowInspector」、「LWPI」、「Lightweight Packet Inspection」は、NTTアドバンステクノロジー株式会社の登録商標です。

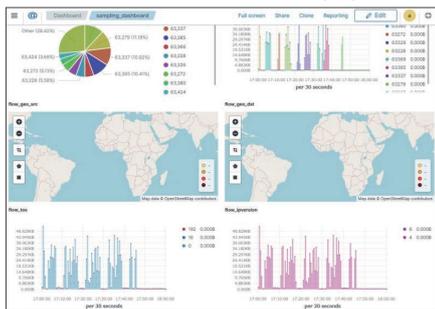
1. 独自のモニタリング手法 LWPIにより、あらゆるトラフィックを可視化し、トラブル原因を早期に解明
2. 複数プローブを時刻同期 (NTP・PTP) させての高精度遅延計測
3. 収集したデータをリアルタイムに画面表示
4. 瞬間的に発生するトラフィック (マイクロバースト) の検知
5. お客様のご要望にあわせてカスタマイズ可能 (自社開発製品)

LWPIとは

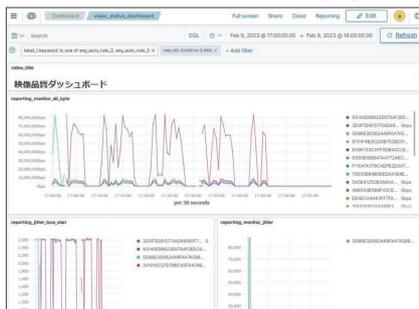


表示画面例

トラフィック監視画面(例)



サービス品質監視画面(例)



レポート画面(例)



お問い合わせ

<https://www.ntt-at.co.jp/product/flowinspector/>



※記載された社名、各製品名等は、各社の商標または登録商標です。※本カタログ記載の内容は予告なく変更することがあります。※カタログ記載内容 2024年7月現在